

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

#### 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **1.67 人** (先週 0.94 人) と増加し、流行開始の目安とされる **定点あたり 1 人を超えました**。

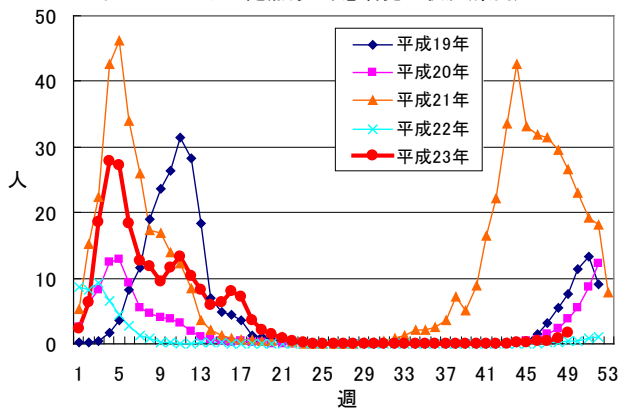
地域的には、神戸市、西宮市及び、宝塚、明石、洲本の各保健所管内で定点あたり 1 人以上となっています。

インフルエンザによる学校臨時休業情報では、学年閉鎖が宝塚保健所管内の幼稚園 1 園で、学級閉鎖が神戸市内の幼稚園 2 園、小学校 5 校、中学校 1 校、宝塚保健所管内の小学校 2 校から報告されています。

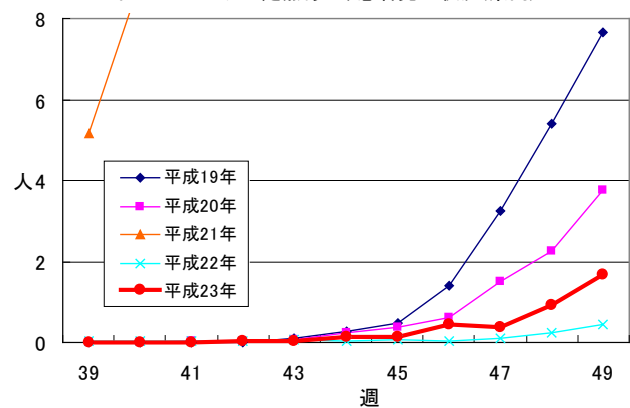
当研究所では今シーズン、洲本保健所管内及び加古川保健所管内の患者 12 名の検体から 11 件の AH3 亜型 (A 香港型) インフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



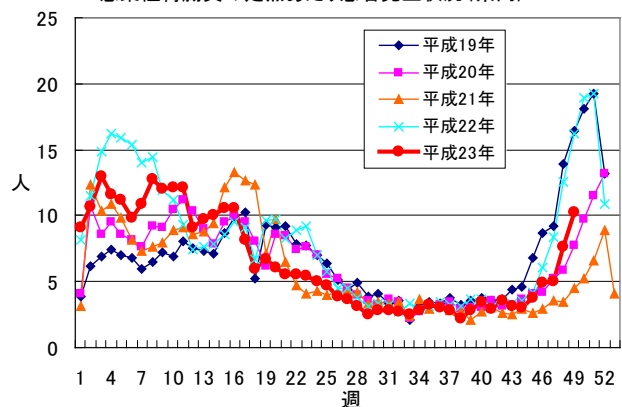
(左のグラフを部分的に拡大しています)

#### 感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **10.27 人** (先週は 7.64 人) と急増中です。

この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。

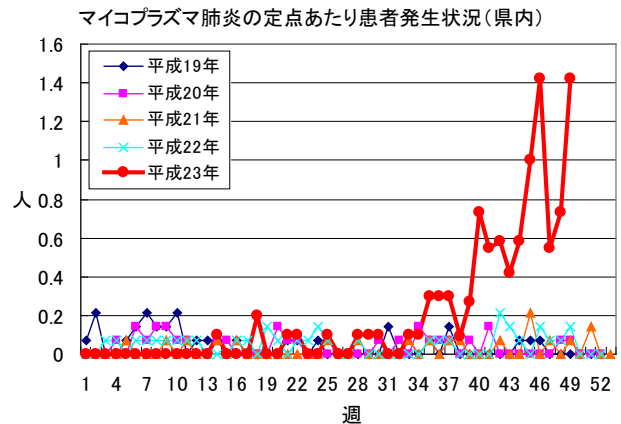
感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)



### マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **1.42 人**（先週は 0.73 人）と増加し、依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありますが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



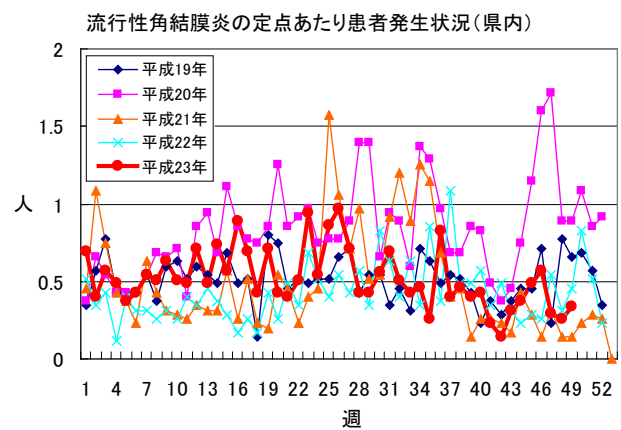
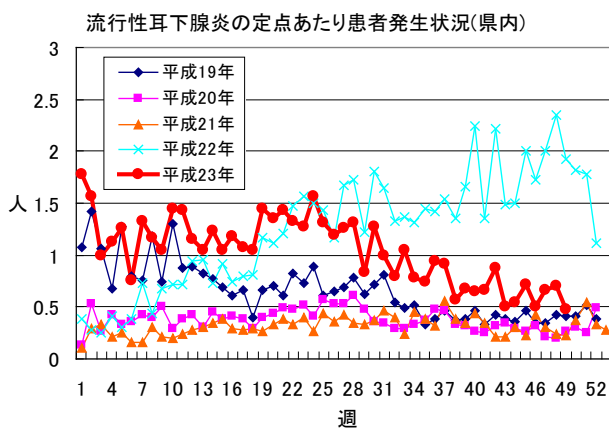
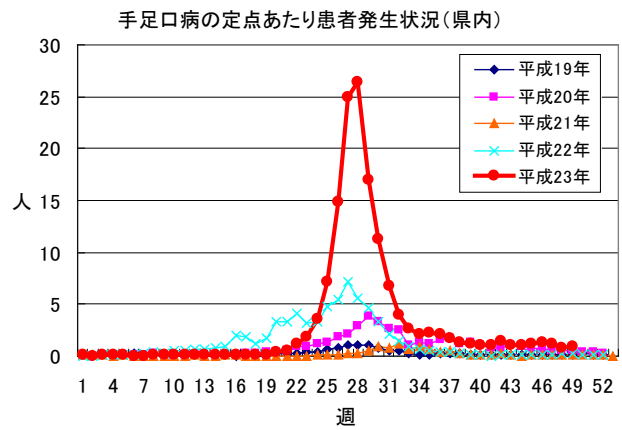
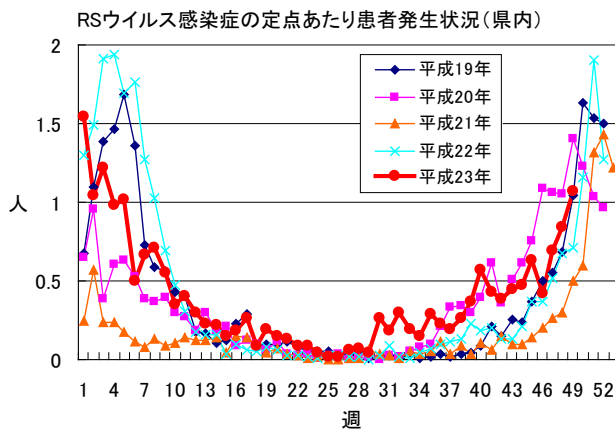
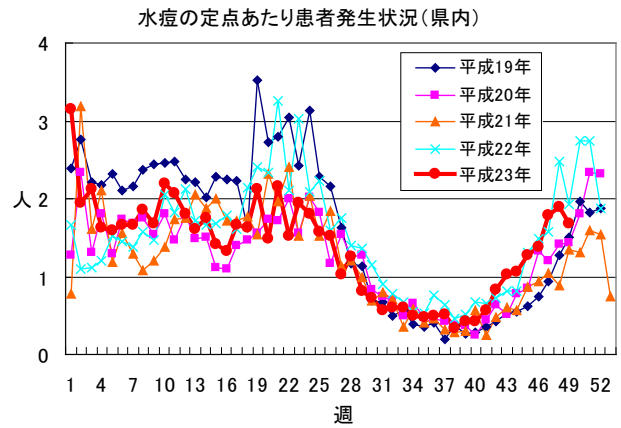
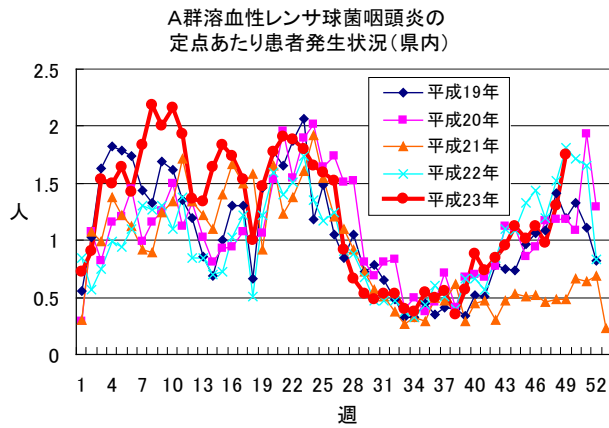
### 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	10.27	7.64	+2.63	6位	RS ウイルス感染症	1.07	0.84	+0.23
2位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.75	1.30	+0.45	7位	手足口病	0.88	0.84	+0.04
3位	水痘	1.69	1.90	-0.21	8位	突発性発しん	0.64	0.59	+0.05
4位	インフルエンザ	1.67	0.94	+0.73	9位	流行性耳下腺炎	0.48	0.71	-0.23
5位	マイコプラズマ肺炎	1.42	0.73	+0.69	10位	流行性角結膜炎	0.34	0.26	+0.08

### 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 18 名</b> （神戸市 9 名、尼崎市 1 名、姫路市 1 名、西宮市 2 名、芦屋保健所管内 1 名、伊丹保健所管内 1 名、明石保健所管内 1 名、丹波保健所管内 1 名、洲本保健所管内 1 名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 1 名</b> （有症者 1 名、うち HUS 0 名） （加東保健所管内；O111 VT1+ 女性 8 ヶ月） （累積報告数 117 名；有症者 94 名、うち HUS 3 名）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	報告はありません。
追加報告	<b>結核 2 名</b> （尼崎市 1 名、宝塚保健所管内 1 名）、 <b>後天性免疫不全症候群 1 名</b> （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。